

1 計画の推進のために

この行動計画が実施され期待する効果を上げるためには、家庭、地域、職場（企業）そして行政が共通認識の下、互いに連携して取り組んでいく必要があります。

そのため、それぞれの立場において、身近なところで何ができるかということを中心に考え、計画に掲げる理念と目標の達成を目指すことが次世代育成支援の趣旨にかなうものです。

また、本計画は、今後5年間に集中的、計画的に取り組む施策等を網羅したものです。それに続く5年間の計画策定に向けて、事業の進捗状況を的確に把握し、後期の計画のための見直しを行います。

（1）計画の進捗状況の公表等

この計画の施策を進めていくためには、現に子育てに関わっている市民や子育て家庭だけではなく、京田辺市全体が、子どもの視点に立った子育て支援や乳幼児期から思春期を見通した子育ての重要性を認識して、積極的に関わりを持つことが必要です。

このため、この計画の進捗状況を市民に公表し、次世代育成支援の趣旨の周知・啓発を図っていきます。

また、各実施事業の利用者からの要望等の吸上げや市政への提言等の広聴活動を通じて、市民のニーズの把握に努め、計画の実効性を高めます。

（2）地域の子育て関連組織等との連携

計画を効果的に進めるためには、子育てに関わる地域の組織等の協力・連携も欠かせません。また、子どもにとって、地域社会は日々充実した健全な生活を営んでいく上での重要な場です。したがって、各種事業の推進にあたっては、民生児童委員や地域の子育て関連組織、ボランティア等との協力・連携を進め、地域社会全体で相互に支え合う「地域で子育て」の推進を図ります。

（3）推進組織の設置等

この行動計画は、次世代を担う子どもたちの健全育成を図るための子育て支援の総合的な計画であることから、国、府などの関係機関との連携はもとより、本市における他の関連計画との整合性を図り、関係部局が庁内推進会議により連携を図って全庁的な連携の下で計画を推進していくとともに、市民や関係団体、有識者で組織する「（仮）京田辺市次世代育成支援対策推進協議会」を設け、市民参画の下、計画の進捗状況の点検や後期計画立案のための検討を進めます。